

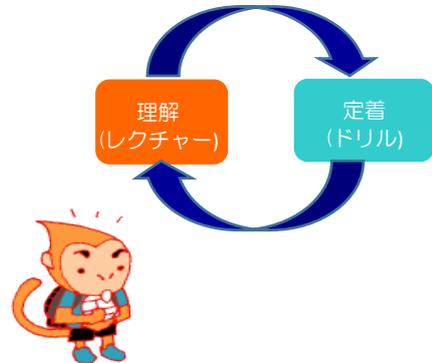
自分のペースで学習が進められる！

すららとは？

小学校高学年から高校生の範囲まで、国語・数学・英語の三教科を、インターネットを通じてパソコンで学ぶことができる「対話型アニメーション教材」です。

学力を身につけるために必要なことは、学習内容の「理解」と「定着」です。『わかった(理解)』と『できた(定着)』を繰り返すことで学力は身につきます。特に『できた(定着)』がないと本当の学力向上にはつながりません。

「すらら」はアニメーションのキャラクターが懇切ていねいに解説していく授業と、一人一人の実力にマッチした問題が次々出題される反復問題練習が一体となっていて、授業を楽しく「理解」し、「理解」したことをすぐに反復練習することで「定着」させることができます。



レクチャーの特徴

「すらら」は理解(レクチャー)と定着(ドリル)を繰り返すことによって、力をつけていけるようになっています。学習するときはレクチャーから開始します。すららのレクチャーは

①とにかくスモールステップです。1つの単元は10～15分程度で、小さな階段を少しずつ上がる感じで学習できるように構成されています。

② 内容はカリスマ先生のわかりやすい授業を研究し、再現した授業をプロの声優が声を担当するアニメーションのキャラクターの先生が魅力的に再現します。わかりやすく、魅力的に授業を進めてくれます。

③ ただ、一方的に先生が話すだけでなく、随所で問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイルなので、流すだけで、終わってた…！ということもありません。



ドリルの特徴

ほとんどの場合、問題が解けない理由は「わからない」以外の何ものでもありません。しかし、「わからない」ところを曖昧にしたまま進んでしまうと、どんどん「わからない」が蓄積され、解けない問題が増えて、勉強がいやになるという悪循環に陥ってしまいます。

そこで、「すらら」には過去の「わからない」を探る「弱点自動判別システム」を搭載しています。解答から「わからない」箇所を探り、自動的にその弱点の箇所を克服するためのレクチャーとドリルが出題されます。

これによって今までの「苦手」を克服することができます。



問題を解くと

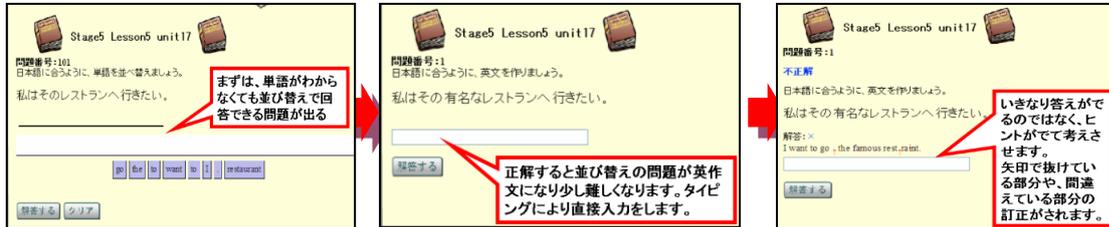


どこが弱点かを把握できて



自動的に、弱点に戻って学習できます。こうすることで、着実に力をつけられます。

さらに「すらら」のドリルには、一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整し、最適な問題を出題する「出題難易度コントロールシステム」も搭載されています。問題は、簡単すぎず難しすぎない。力をつけるために最適な問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進められます。



すらら その他の特徴 ——まとめプリント——

「レクチャー」には、その単元で学習したポイントをまとめたプリントが用意されています。穴埋め形式になっているので、レクチャーの内容が理解できているか確認できます。まとめプリントを印刷し、学習するたびに記入していけば、きれいに要点だけをまとめたノートができあがります



レクチャーの最後に、まとめの内容があります。勉強した内容のポイントを、復習することができますわ！



——コミュニケーション機能——

管理機能により、学習したことが担当の先生に伝わります。これは、家庭で学習しても同じことです。また、すららのコミュニケーション機能を使って、先生たちからのメッセージも受け取ることができます。教室で直接会話しながら頑張ることもできますし、家に居ながらもアドバイスをを受けたり、励まされながら、先生たちと一緒に頑張ることができます。